

## 発刊にあたって

研究所には、4つの大きな業務があります。そのうちの 하나가研究成果等の情報発信業務です。

当所では、日頃から、研究成果を易しく説明する等、納税者へ研究成果を還元すること、国民に対して顔が見える研究所に心掛けると共に、地域においても科学技術の振興に寄与することの重要性を職員に説いています。また、平成15年度の所の運営方針として「情報発信の強化」を掲げています。このため、所として、研究職員に、水産総合研究センター研究報告、学会誌等へ、積極的に論文を投稿することを指導しているところです。また、ホームページの更新・充実、研究部紹介パネルの新設、研究成果パネルの更新、職員が発表した論文の別刷り、研究成果をコンパクトに取り纏めた資料の展示と配布、ホームページ閲覧コーナー等の情報コーナーを玄関に設置する等、情報発信について積極的な取り組みを行っています。来所の際には、是非、情報コーナーを見学していただくと幸と存じます。

このうち、所では、研究成果の還元が重要であるとの理解の下で、通称「研究成果チラシ」と呼んでいる、各研究職員の研究成果をA4用紙一枚紙で研究成果を取り纏めた資料があります。これは、「スーパーマーケットのチラシの様に、パッと見て即時に理解できる」「読み（見）たくなる」ものとし、論文とは異なったものとして作成した研究成果です。内容的には、非常に優れていると思われるものから、もう少し検討が必要と思われるものまで多岐にわたっています。しかし、研究職員一人一人が、自ら1年間、何を研究をして、どのような成果を挙げたのかを意識し、表現すると共に、研究職員の顔が見れることの重要性を認識することが重要であると考え、企画・掲示したものです。これも、当所職員の情報発信に関する意識の高まりの一つであると考えています。

本「研究のうごき」は、当所の研究職員及び当所に在籍している特別研究員から提出された上記「研究成果チラシ」と当所の「研究態勢」を、冊子として取り纏めたものです。本冊子が、読者の研究等の活動の何らかの参考になるとともに、当所の研究活動についてご理解を得ることができれば幸甚と考えます。

なお、この冊子の内容については当所のホームページ (<http://www.nrifs.affrc.go.jp/>) でもご覧いただけます。また、ご質問等がございましたら当所企画連絡室 (TEL.045-788-7607、FAX.045-788-5002) までご連絡いただければ幸いと存じます。

平成15年7月

独立行政法人 水産総合研究センター  
中央水産研究所長

中村保昭